

ふり ひめ さと
振媛の郷
たかとり



たかとり
No.35
2022.10.26 発行

懐かしいけど新しい！ 盆踊りで広がる地域の輪



CONTENT
・たかとり 盆踊りの夕べ
・#まち活
・ふーちゃんねる

特集
まちの未来を描こう！
子どもワークショップ

発行/たかどりの郷づくり協議会・高松東部コミュニティセンター
編集/たかとり広報委員会(坂井市丸岡町坂倉45-47) Tel&fax 0776-66-4422
E-mail: takatou-cc@city.fukui-sakai.lg.jp

福井県公民館

広報紙コンクール『最優秀賞』受賞！

今年度の福井県公民館広報紙コンクールにおいて、「振媛の郷 たかとり」がAコース(紙面6P以上)で最優秀賞を受賞しました。毎回、子どもから大人まで住民みんなで取り組む地域づくりやコミセン活動の様子が分かりやすく伝わるような紙面作りを目指しています。お手元に届きましたら、ぜひ一度手にとってみてくださいね！



「わんぱく王国」in 鷹取山

坂井市教育委員会主催の「わんぱく王国事業」に、たかどりの郷づくり協議会も協力しています！児童を対象に市内の海・山・川で実施する13の自然体験メニューがあり、10/16(日)には『鷹取山トレッキング』が開催されました。親しみのある鷹取山をたくさんの人に知ってもらえるのはうれしいですね！



日時：11月24日(木) 8:30～11:00 **集団健診を実施します！**
場所：高松東部コミュニティセンター
お申込み・お問合せ
特定健診について……………保険年金課：50-3031
その他の健診・がん検診について…健康増進課：50-3067

地区内外の旬な
情報を発信して
いきます



令和4年度 丸岡地区コミュニティ共催講座
指先から世界がひろがる！
タブレットで楽々脳活♪
11月30日(水) 開講
午前10時～11時30分
丸岡地区コミュニティセンターが合同企画する共催講座、今年度は「健康」をテーマに4つの講座を開催します。高松東部・磯部・鳴鹿第二コミュニティセンターでは、iPadに触屏してみよう!!ということ、指先で触れるだけのコンテンツ操作で楽しく脳のストレッチを行います。
新しい体験は脳に刺激を与えますよ！これを機会にスマホにダウンロードし、自宅で楽しんでみませんか？



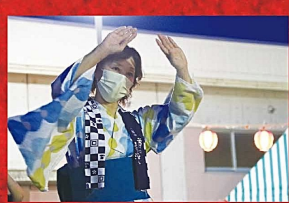
Instagram



2がやき
コロナ禍になって3年目、今年、「ウイズコロナ」としての考え方も広がってきて、ちらほら祭りを開催するところも増えてきた。
ちよつと前に、テレビを見ていたら、祭りには、春祭り、夏祭り、秋祭りがあつて、春祭りは、豊作を願つて行つて、秋祭りは、実りに感謝して行つて、夏祭りは、夏祭りと、夏の思い出を作る行事？ではなく、疫病退散を願つての行事らしい。そして、盆踊りもそうらしい。
というわけで、願いはひとつ「新型コロナウイルスウィルス疫病退散!!」と、やっぱり夏の思い出も作れたなあ(笑)
「ジツちゃんになりたてのY」

高松東部の人口

2022.10.1 現在
()内は 2022.6.1 現在比
世帯数 710 戸 (±0 戸)
人口 2,154 人 (− 3 人)
男 1,069 人 (− 7 人)
女 1,085 人 (+ 4 人)



盆踊りを踊ると懐かしい青春時代の思い出が鮮やかに蘇ってきます。昭和50年、私が高椋東部青年団に入団した頃、夏の風物詩として板倉分校グラウンドにおいて民謡の夕が行われていました。当時、団員は20名ほどだったと思いますが、何日も練習し男女ともに皆揃いの浴衣を着て、あちこちで開かれている盆踊りを行き来したことは楽しい思い出です。今年、久しぶりに「盆踊りの夕べ」ということで復活し、事前練習にも参加し感無量でした。下手でも踊った方が絶対楽しいですよ！これからは「ウィズ・コロナ」

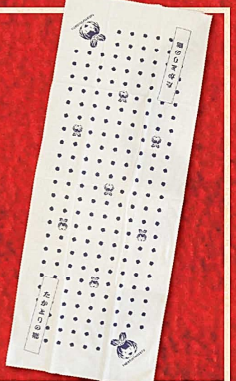
文：奥村 秀幸



昭和レトロを楽しもう！ 8月6日土曜日

たかとり盆踊りの夕べ

たかとの郷づくり協議会では、昨年から実施している「たかとの郷の将来ビジョンを考える」ワークショップにおいて、地域住民や子どもたちと様々な意見を交わすなかで、例年とは趣向を変え、「たかとり盆踊りの夕べ」を開催する運びとなりました。住民が「櫓(やくら)」のもとに集い、輪になって太鼓や盆踊りを楽しむ…昔を知る人には懐かしく、子どもたちや若い家族連れには新しい、昭和レトロな雰囲気にとどきのキッチンカーを組み合わせた新しいまつりにしよう！と企画しました。盆踊りの合間に実施した櫓からのお菓子まきに、子どもたちは大喜び！来場者に配布した「ふーちゃん豆しほり手ぬぐい」も好評でした。



コロナ禍の中での夏まつり。盆踊りの夕べということで、密をさけて野外での行事でした。何日かの練習で、踊りを覚えていた遠い記憶が蘇ってきました。昔つた杵づかじゃないけれど、懐かしく思った人たちが今年の夏は大いに楽しむことが出来たことでしょう。古い曲も、新しい曲もどれもこれも楽しかったわ。

また来年！！

文：山田 みどり



コロナ禍で心配された今年の夏まつりは「盆踊りの夕べ」というタイトルで開催され、青年団時代を思い出して、心の中では密かに躍っていました。事前練習ではコミセにした多くの人が参加し、重たく動きが鈍くなった身体で汗をかきながらワイワイと賑やかに取り組むことができました。

まつり当日は、櫓を中心にした大きな踊りの輪ができて、夕方ということもあって、暑くても爽やかに踊れて非常に楽しかったです。特に第二部では若い人達の参加もあり、輪の雰囲気も一段と盛り上がりました。

今回の夏まつりは、コロナ禍で塞ぎがちな世の中において、キッチンカーなどを活用し、多くの地区民が集まることのできた素晴らしいまつりではなかったでしょうか。次回以降も地区の連携と発展のための行事として続けていけたらと願うものです。

文：南出 繁和





#まち活

- MACHI KATSU -

ふる里の「宝物」、伝承料理を学ぼう

7 8 (金) 葉っぱずし作り

明章小学校とまち協では、愛郷心を育む「ふる里教育」の一環として「葉っぱずし作り」を企画しました。子どもたちは、アブラギリの葉っぱの収穫から体験し、コミセンで地元の女性の方に教わりながら調理実習を行いました。試食では、おいしい〜と、笑顔いっぱいの子どもたちが印象的でした。体験学習の様子は、令和5年開催の「明章小学校30周年記念事業」にて披露される予定です。



◇子どもたちの感想

- ・いろんな人のおかげで葉っぱの取り方、取れる時期などを調べてくれたのでうれしかった。
- ・葉っぱずしをにぎるのも楽しかったし、葉っぱを巻くのも楽しかったです。
- ・アブラギリの葉っぱのことをたくさん分かりやすく教えてくれて特徴が分かった。
- ・アブラギリの名前の由来など、疑問が解けてよかった。また葉っぱずしを食べたいです!!
- ・初めて調理して、初めて食べて、すごくおいしかった。
- ・葉っぱが簡単に取れたのがとても驚いた。
- ・みんなで料理をするのが久しぶりだったので楽しかった。
- ・この校外学習に協力してくれた方々に感謝したいです。



6 25 (土)

防災教室

学び&体験で備えよう!

昭和23年に、地元末政地係を震源として発生した福井大地震を教訓に、当地区の指定避難場所である明章小学校にて5、6年生児童を交えた防災教室を実施。子どもたちは、避難所運営ゲームを通して楽しみながら防災について学びました。参加者からは、知らないことが多く、とても勉強になったとの声が聞かれました。

高嶺東部地区は、幸いにも昭和23年の福井大地震以降、大きな災害に遭遇していませんが、全国各地では地震や台風による大雨災害などが発生し、大勢の方が避難所暮らしをしています。万が一に備えた今回の避難所運営訓練は、停電時に使用する発電機の使い方など、実際に体験するのが初めてのことも多く、小学生や区長と一緒に実施することができ、有意義な訓練になりました。

たかとのり郷づくり協議会 会長 吉田 良一

- ①プライベートルーム説明
- ②簡易ベッド組立て
- ③坂井市防災備蓄倉庫説明
- ④災害非常食紹介
- ⑤ふくし部会活動のお話
- ⑥排便、排尿凝固確認

ふくし部会

7 1 (金) 「お互いさま」で支え合い #ふくしまップ作り

区長、民生委員、福祉委員、社協など約50人が出席し、情報交換をしながら、ふくしまップの見直しを行いました。



9 11 (日)

#ボランティアア功労表彰

子どもたちと花の交流 かんきょう部会が実施している、もみじ認定子ども園児との花植え交流などの活動が認められ、今年度の社会福祉功労として団体表彰を受けました。部会のみならず、お母さん、おじいちゃん、おばあちゃんも!



8 28 (日)

#明章小学校 グラウンド草刈り

のびのび活動してね!



かんきょう部会

8 23 (火)

#坂井市花壇コンクール 「優秀賞」受賞!

みんなで作る花いっぱいのもち育てたコミセン前花壇が、見事「優秀賞」を受賞しました!「コミセン」にお越しの際は、色とりどりの季節の花々をぜひご覧ください。



郷土を探す旅に出かけよう。

明章小学校 × たかとの郷

みんなの一步で未来へつなぐ

ふるさとに誇りを持ち、たかとの郷を担う子どもたちを地域で育成しようと、明章小学校とたかとの郷づくり協議会が連携して「ふるさと学習」をスタートしました。この取り組みは令和3年度から実施してきた「たかとの郷未来ビジョン」のワークショップの意見が実現化したもの。地域の歴史や自然環境、伝統文化といった、ふるさとの魅力を知り、地域課題を探求していきます。自分たちの住む地域に誇りと愛着を持ち、将来のたかとの郷の未来を切り拓いていく、そんな地域に根ざした学びが今始まりました。



04

想う。

地域に特別な感情を抱く

住民の暮らしと共に今まで受け継がれてきた様々な”郷土”。出前事業やフィールドワークを通じて、人々との関わりに気づき、感謝の心やふるさとを大切に想う愛郷心が育まれていました。

03

ふれる。

人の優しさ、温かさ

葉っぱずしの誕生は遡ること江戸時代。松岡藩主松平昌勝公の命により油を採取するためにアブラギリの樹木が栽培された事がきっかけではないかとされ、地元では古くから「すしの木」と言われて庭に植えられていました。この日は、たかとの郷づくり協議会をはじめとする地元の女性3名が講師となって葉っぱずしの調理に挑戦。高椋東部コミュニティセンターは賑わいと熱気の渦に包まれました。

02

探す。

住民が大切にしているもの

古くから地域で大切にされてきたものの一つに郷土料理があります。地元で収穫できる農産物を使い、独自の調理方法で、地域に広く伝わり、昔から食され、この地でしか食べることのできない料理に「ごんぼ汁、打ち豆汁、呉汁、葉っぱずし」があります。児童たちは、数ある郷土料理の中から葉っぱずしのルーツを探る旅へと出かけました。

01

知る。

未来に向かって後世に伝えていきたいこと

6年生を対象に「郷土」をテーマとした出前授業が行われました。講師は地元たかとの郷づくりの会員が務め、「普段の生活の中で何気なく目にしている地域の自然や風景をはじめ、自分を育ててくれたいろんなものが郷土です。気付にくいと思いますが、先人たちが大切にしてきたものばかりです。」と話してくれました。児童たちは「地域の事を知るきっかけとなった、興味を持った、これまで大切にされてきたものを後世に伝えていきたい」とふりかえっていました。



君からナニをツタエル、

想いをカタチにするチカラ。



04

ずっと大切に していきたいふるさと

4グループに分かれ、インタビューシートをもとに後世に伝えたい大切な事をテーマ設定しました。そして、実現するために私たちが出来る事を出し合いました。ワークショップが世代を繋ぎ、そこから理解と共感が生まれ、互いに認め合い、助け合って生きていくことの大切さを知りました。何より、子ども達は自分の思いがしっかりと伝えられるようになりました。

03

未来への自信

初めて会った大人にインタビューしてみると、みんな優しく応じてくれて、誰一人取り残されることなく、自分達の居場所がありました。取材をとおして、地域に対する見方や知識、興味、関心が広がり、こんな短い時間でも、自分たちでたかとの未来を描いていけるという自信へとつながりました。



02

伝えて いきたいもの

聞きたい事をあらかじめ考えておきました。子ども達が大人に質問したのは、未来に向けて私たちに伝えていきたいものです。「たかとの良いところは何ですか?」「残して欲しいものは何ですか?」と尋ねると「この地の伝統だね」「たかとりに住む人達の温かい心だよ」と応えていました。さらに子ども達は「伝統についてもっと詳しく教えてください!」「温かい心はどうして生まれるのですか?」など、興味津々に再度質問していました。

01

私は新聞記者

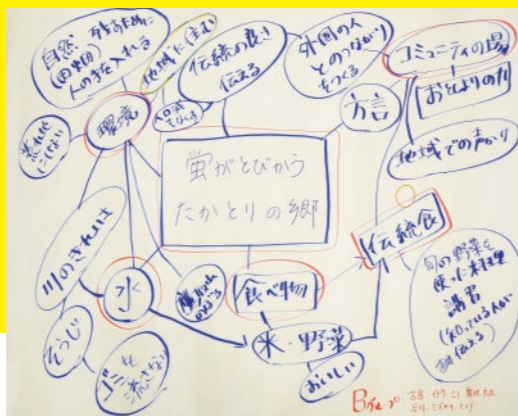
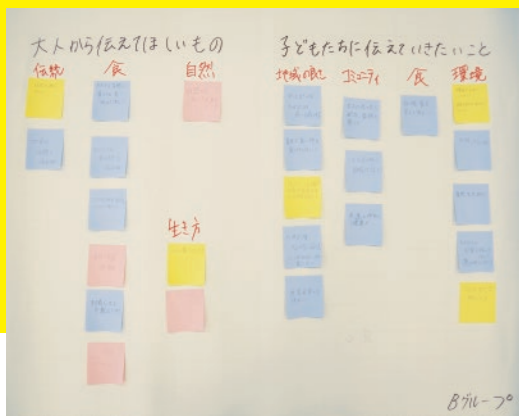
7月24日、夏休み最初の日曜日に高棟東部コミュニティセンターに4~6年生の親子と校長先生、担任の先生、高校生、社会人1年目の若者、たかとの郷づくりの会員ら22名が集まり「住み続けたいまちの未来図を描こう」をテーマとしたワークショップを開催しました。

子どもと大人に分かれて、それぞれが記者になりインタビューを開始。子ども記者は一生懸命メモを取りながら取材に挑戦していました。



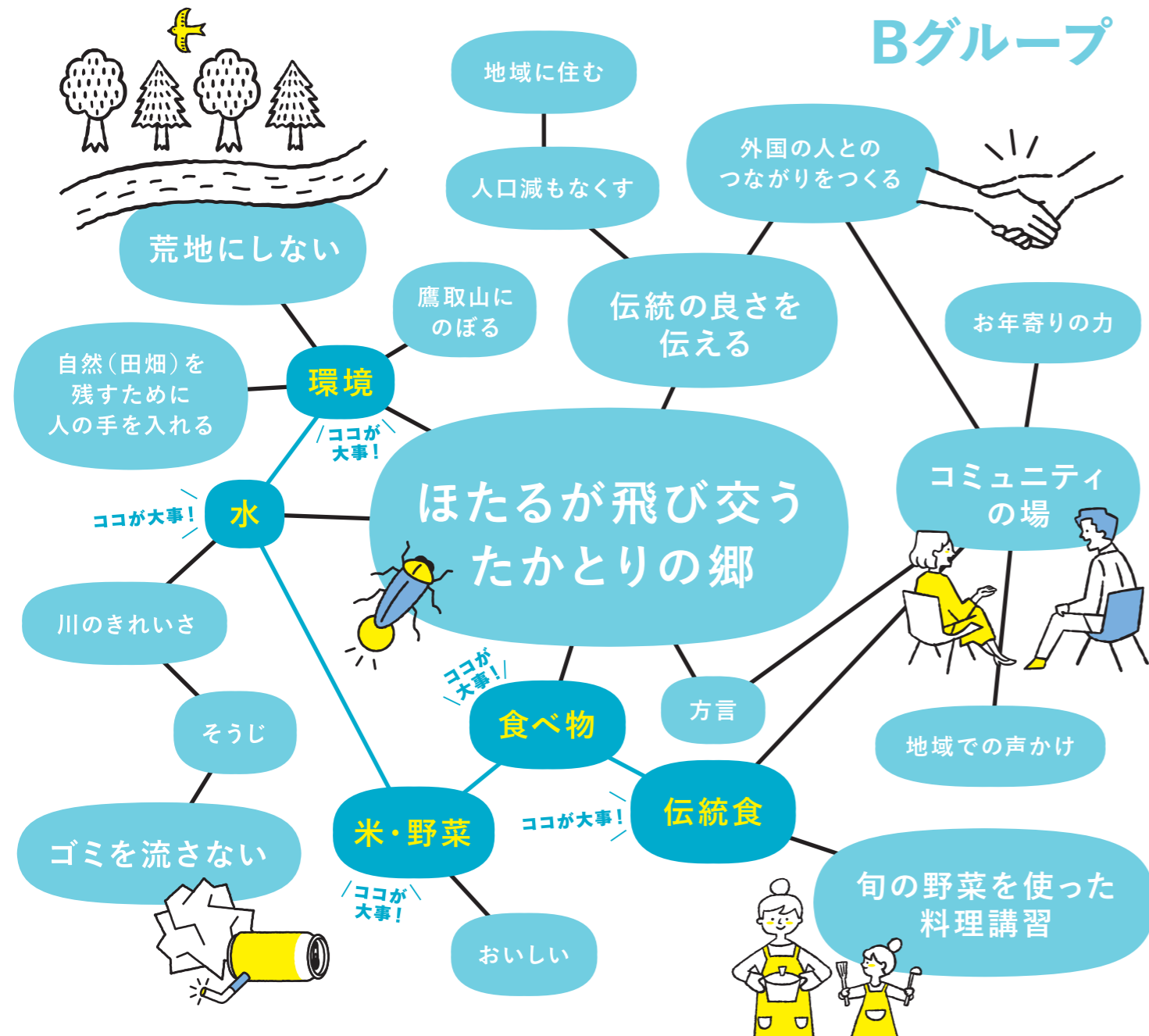
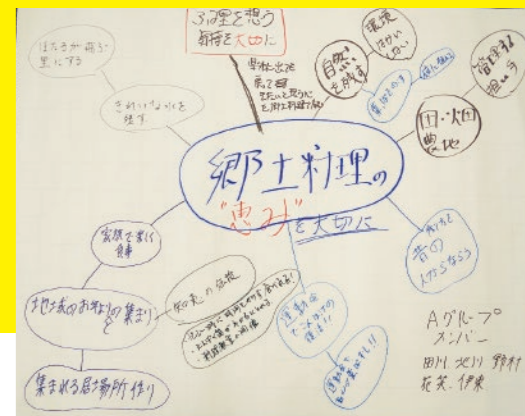
さあ、まちの未来図を描こう。





後世に伝えたい大切な事!

インタビューシートをもとに、
世代をこえて未来のために意見を出しあいました。



心に残ったこと

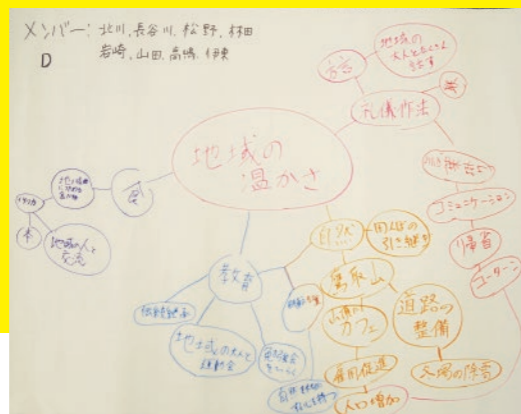
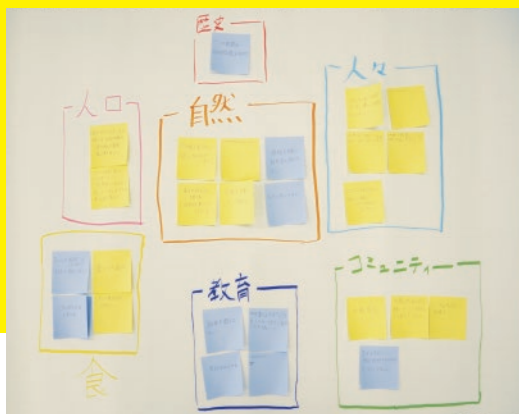
- 【子ども】
- この活動を通して地域の人と関わったこと。
 - 今まであまり交流する機会がなかったけれど、今日を通して知り合いになったこと。
- 【大人】
- この「ふるさと」には、「たから」があるということ。蛭が野中山王にいるということ。
 - 子どもだけで発表したこと。自分たちで経験をもとに地域を守ることにについて考えたこと。
 - 発表しているのを見て、みんな同じ気持ちということと、思いやりがあるなと感じた。
 - この地域は自然も豊かで、心の優しい人が沢山いると思った。

楽しかったこと

- 【子ども】
- 地域の人とたくさん話ができたと。
 - 友達や大人の方のこと、思っていたことが分かった。
 - 地域の人々や、初めてしゃべった人達でもあたたかい言葉を発してくれたので交流が深まった。
- 【大人】
- なかなか地域の方々とお話する機会がなかったので、いろいろなお話が聞いて楽しかった。
 - 子どもと大人で、たかとり の郷のことを考えることができた。
 - 小学校の児童さんと触れ合えることが続いており、今までにない豊かな気持ちになれた。

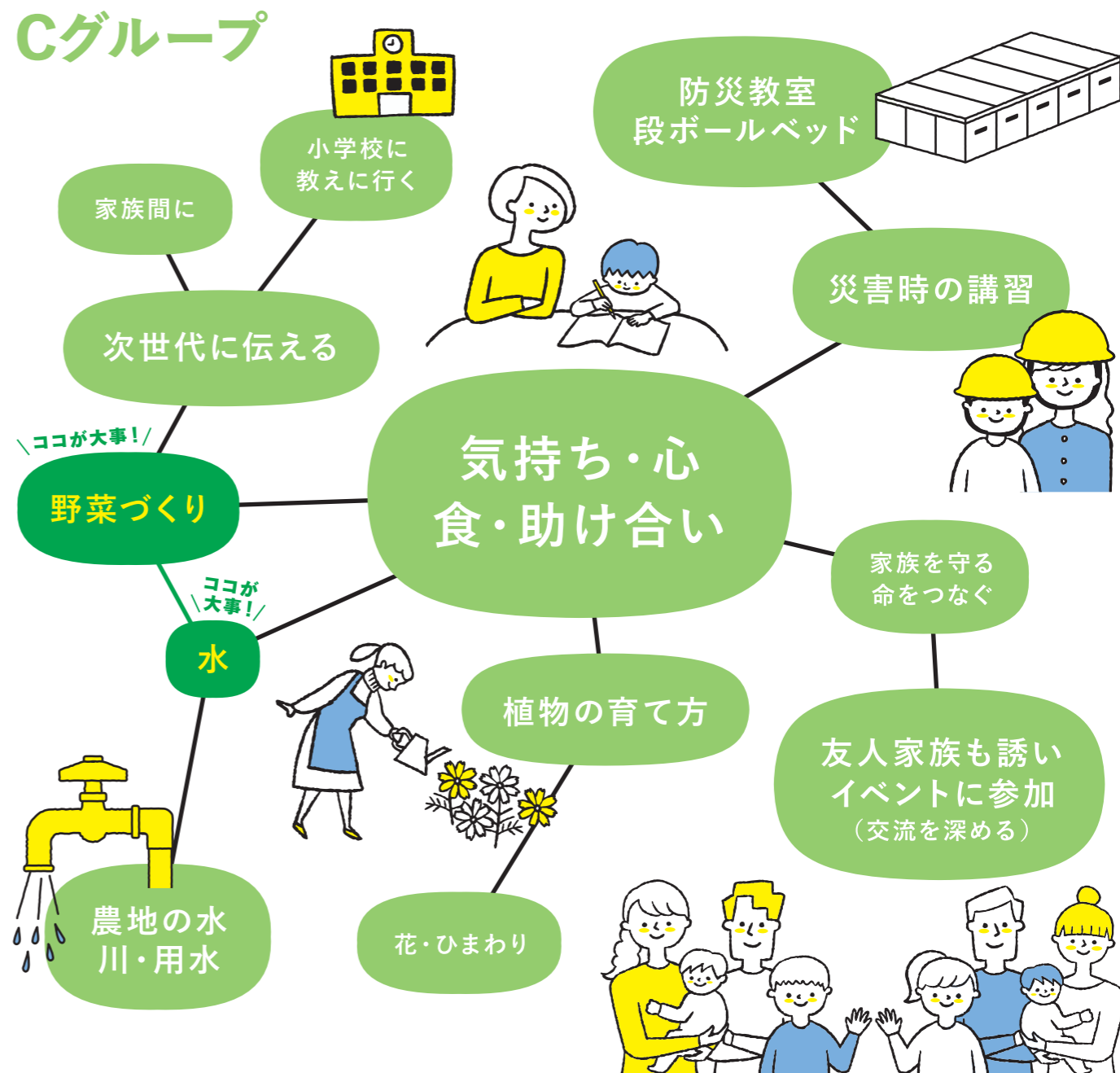
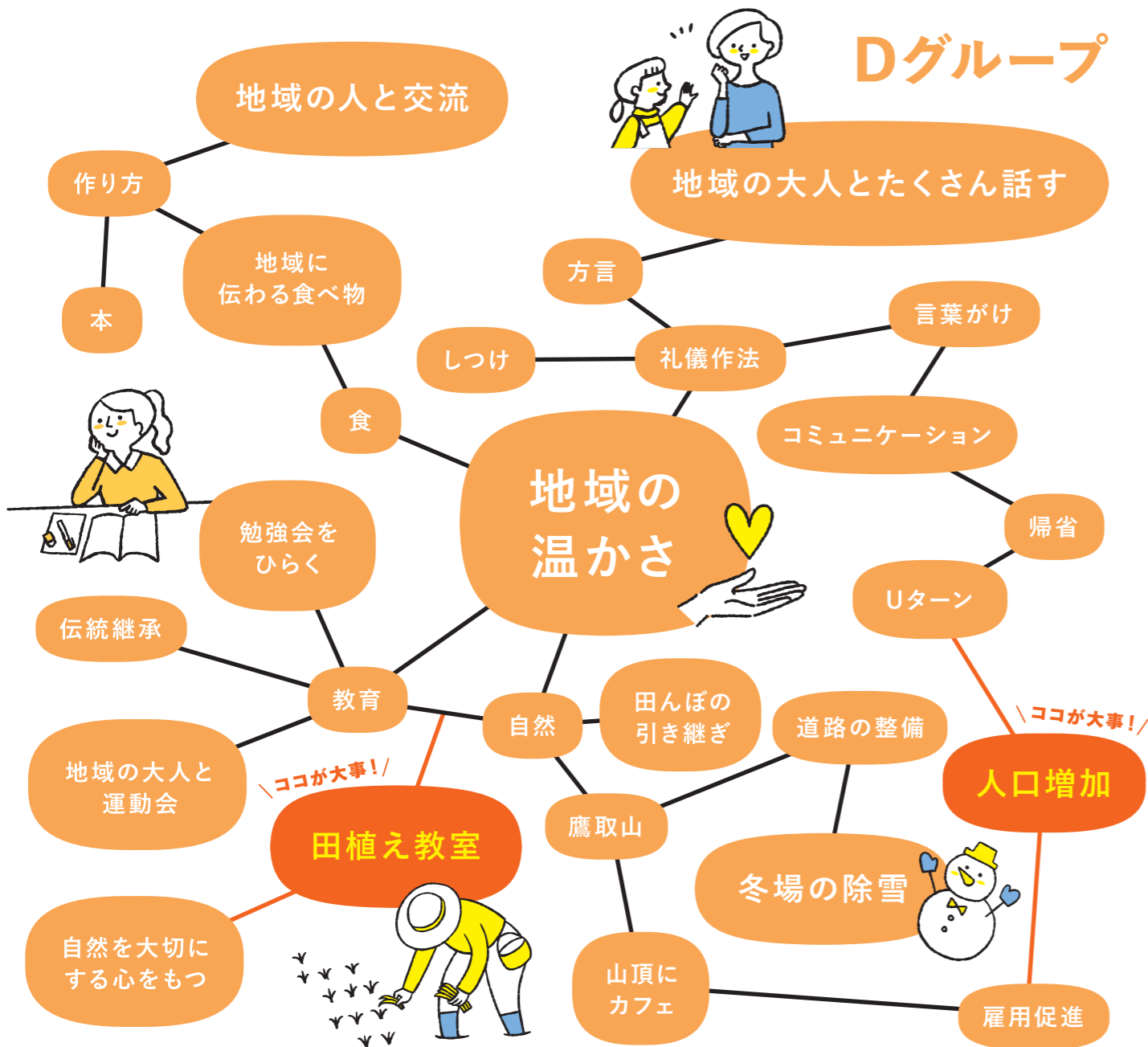
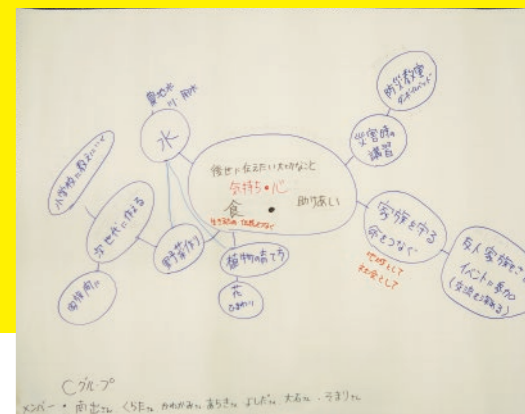
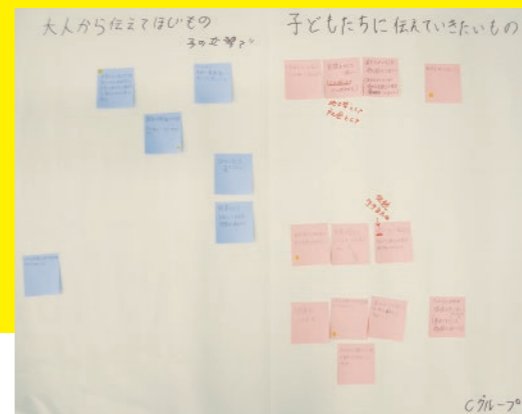
ワークショップふりかえり みんなの感想





後世に伝えたい大切な事!

インタビューシートをもとに、
世代をこえて未来のために意見を出しあいました。



自信が ついたこと

- 【子ども】
- 今なら、私のこきょうは良いところだって言える気がする。
 - 自分の思っていることを意見に出すことができた。
 - 初めて会った人でも意見が言えると思った。
- 【大人】
- 参加したみなさんがふるさとたかとの郷を好きだと思っていること。
 - 自分の地域は素晴らしいということを他地域の人に誇れる。
 - この発表を機に、たかとの郷のことを考え、行動していくことが出来るようになると思う。

やりたいな と思ったこと

- 【子ども】
- おばあちゃんや地域の人に郷土料理を教えてもらいたい。
 - これから坂井市にもっと興味を持ちたいと思った。
 - 夏休みの壁新聞とかで、もっと地域の人たちに質問してみたいと思った。
- 【大人】
- 我が古里に対して気持ちを新たにできたので、自然の環境の大切さを伝えていきたい。
 - 世代を越えた活動。イベント的なものでなく、ふる里を思う心が育つ取り組み。
 - 地域の良さを知るためにもっと地域と交流する活動を子どもたちと取り組みたい。

ワークショップ みんなの 感想

